



新柳髮話

浮世床

中

號	九	第
一組	至	自
册	六	十
	卷	卷
	十	册

14
3157
42(9)



42
3157
42
191

柳髮新話浮世床三編中巻



一時小惚さんの下利の内儀居さんのかううー。
 かりぬせう。志うー悪イ毛むりうで。よろううね
 ずいハ。どうもせううが寝ぐ。孫がくハ。也
 ても向ふ交々りんごナ。向をすせりより。
 以川そ田舎味味ふあるさ色をり。カニん
 居さんハ。チヨン。笛本田は青岱のま味をえ

表三中

すく。麦むぎツ粒つぶの吸すい口くちでむのいとさぬふあな
さる幕まきだろろう「へん丸まるで。白髪あしながで捲こせくささて。
根ねを割こ根ねよしてあふ^{〇アまうたさう}「むらいて歯はりのう。
ごても。地ぢも髪ひといえく^〇りのう。いつそ黒くろの斗たう
毛けやけぐよくろろう「そんなら白しろで根ね戻かへと
捲こけて。あッたろよくろろう「あんごくとあ。あれが
天あま窓まもさまぐ^〇「なりのよあろうぞ」そのうち
ふも葉はのんの足あし立たが^〇「あんこつ子こ「まこ、あ

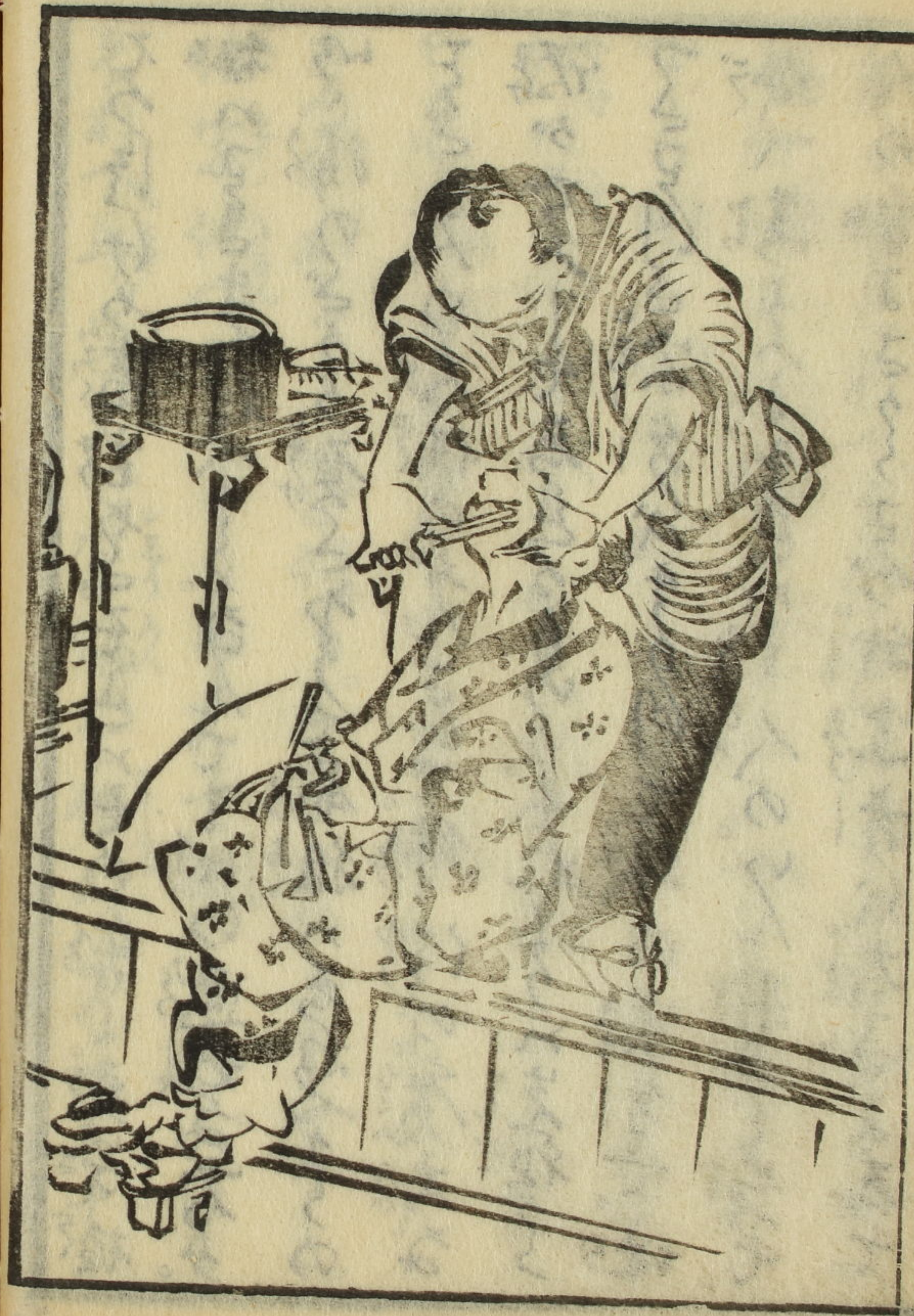
形かたちをやるうぢろよ。エ、りん。怒いでもぶらで
毛けりくろ。早く^〇てまてくごせ^〇「モシぶー
ほけらがる。いりて法あつ辨ひんさろろ。さの
むろして。よさそるなんだ子こ「さよバサ。
そこが親おやのる糸いとが。いりのふるらても将はつしを
子こ供どものうらふえくて。あんなせうのこごとでも
あつたろこのちが樂らくみさ^〇らん^〇ハなくらう
ともは^〇あふ^〇ま^〇ら^〇と^〇ろく^〇を^〇ま^〇さ^〇う^〇坊ぼくさ

天あま窓ま

坊ぼくさ

天窓をうけたてく。おをまがへも出さぬ
 又様ゆく。取ッてを解く壺のサ。トリスの
 世と思ふ。仮の名。本名。あり。サリをり新造ッ
 子小でもかる。お存サ。一を。兼さ面。新造
 ぞろ。修。ク。ぞん。せ。く。小。後。と。寄。ら。る。の。修。さ。面。小
 ち。の。て。備。ぶ。一。を。つ。け。さ。ら。ふ。い。で。あ。ひ。つ。く
 なる。一。く。へ。ん。ま。が。り。あ。ま。が。色。み。と。い。ふ。一。は
 戸町。ぐ。ま。一。二。丁。目。で。る。一。く。一。は。院。極

日蓮極。く。え。ん。の。ん。念。な。降。極。一。ラ。ヤ。く。あ。ま。ん。ハ
 何。宗。音。一。一。宗。引。ふ。か。き。う。り。の。う。切。交。丹
 で。ま。く。の。ん。ま。が。あ。ま。ん。で。も。お。む。り。又。あ。が。ん。で。も
 一。心。助。ご。こ。ま。ま。一。く。一。り。怪。い。仏。が。あ。る。り。の。う。
 こ。ま。ま。一。う。上。へ。の。り。の。ま。う。邪。仏。ふ。か。ま。ま。を。ま。ん
 でも。あ。が。め。る。が。い。く。ぞ。や。ア。移。り。う。そ。れ。ま。ヤ。レ。お。れ。の
 何。宗。音。一。一。親。音。の。ん。あ。ま。が。あ。ま。ん。又。そ。ま。ま。一。ノ。ヤ。レ
 壺。の。内。へ。の。利。が。移。入。の。と。か。こ。ま。ま。地。を。ま。る。の。が。



湯煮ごころ知れ

かこあふ 熱天家

あつさおた

わあと

ほけん

琴通舎

石たる。よきそふなりんと。マッカリと尋ぐらる
 へ。此の海。蘇の送。多々。とどサ。おなト。高
 根の解を。る。え。成。経。是。は。ち。ぐ。人。併。の
 大。意。大。悲。で。一。く。十。ま。ぐ。並。べ。て。並。て。サ。ア。ガ。と
 ても。ま。ま。と。知。を。も。つ。て。こ。い。換。く。来。て。も。堅。か。ら
 楽。て。も。後。生。と。い。ひ。及。く。も。の。や。さ。く。ま。と。ど。が。ま。ま。と。う
 人の。深。背。も。か。く。め。人。も。ま。り。又。ん。さ。う。え
 実。ふ。う。う。サ。ま。ま。と。ど。が。ん。だ。ふ。体。の。及。ふ。か。ま。い

ま。い。の。し。ど。こ。そ。も。神。や。ま。り。の。人。の。魂。世。が。あ。ん
 の。ん。ま。う。後。ま。ま。同。遠。は。れ。く。ま。ま。と。ど。の。り。を。ま
 移。り。く。ま。ま。と。ど。が。ん。だ。ふ。体。の。及。ふ。か。ま。い
 及。り。が。一。ア。テ。よ。ふ。と。ど。が。ん。だ。ふ。体。の。及。ふ。か。ま。い
 送。ふ。か。ま。い。の。ま。ま。と。ど。が。ん。だ。ふ。体。の。及。ふ。か。ま。い
 一。中。よ。天。神。蘇。て。ご。ざ。る。ツ。ト。人。の。身。子。を。一。を。回
 ぞ。ふ。く。ま。ん。ハ。テ。よ。く。よ。ん。ど。ナ。ア。ハ。タ。ア。リ。ト。ま。ま。と。ど。が
 く。ま。ぬ。者。が。あ。る。ハ。一。イ。ヤ。奴。者。と。い。ふ。を。魂。石

永三

五

さん茶室の一件に。どろろそろろなる。らんと
考ておらんをせんナ。かんよそろおのけ。見
ふしうまぞろそろくーくて。案ドも何も付の
志わく。せんうろ志わろく。奥へそろそろり
と志わせり。めんぞ茶室がろろく。そろろ
そろもこらろもろろろ。早く猫をさし
らろろせん。イヤ。そろぞろが。茶室ぬろろ。ハテ
よふぞせん。スア。チヨツ。さびよん。れをろろ

後居と寝ての吸。燃公。結て仕音たろ。ろろろろろろ
ろろろろろろ。あろアモウ。おまてろろろろ。ろろろろ
でも考ていよふ。どろろろろ。ろろろろろろ。ろろろろろろ
ろろろろろろ。チヨツ。いぬま。山月小あろろろ。ろろろ
ろろろ。さのみかけ。下結を。是。まの。通ろ
「ドレをろろろろろろ。見ろろろろろ。ヤレく
小茶味よく。ちろろろろろ。ろろろろろろ。ろろろろろろ
ろろろろろろ。ヒヨイとろろろろろ。ろろろろろろ。ろろろろ

づのうきヨ育 ころつアぶのころからゆりし
考 うんみや。ちやれどころでいぬいナ。それ
 づねく。ちろトおもろそあのちこつちえと
こころ。かんさけ 両女きもえくぬく。ころと歯をむろつて
 持てきたが。どんぞは給いあるぬく。おま
 甘と。南籙き序たて投ど子。まんでつけて
 を持のころいりんと育 生糞まきまからちむんり子
育 イヤ 生糞まきまよりも。ワシヤが。大文まどヨまきま
何

ワシヤ。をそま。ついでまこみもね入りんとが。
 しく行くぬり育 へん。行くころころ。ワシヤで
 けけく入る。末代ましろちろつ。ころいど考 ハア
 どこで書うノ育 本業ほんごうをヨ考 丸まる想おもままかかが
 所ところよ。あろふろ育 ころつてサ。りつてきりえ
 ころ考 ころつて入。トレとれさぐよか考
考 ころ考 ころよけのろ。かうままあり形かたちどま。
か ころ考 ころいんだてるがのせ。進すすめと考 ころ考

みぞア、^考寝る寝くトり^考持出^考「ト」チキメ
 〰〰〰^考「イヤ」笑る^考ぢやア^考るる^考先^考履^考て
 けつると布中^考をうけて。佛壇^考の下^考仕籠^考く
 五六^考年^考も。たまうといふ下^考袴^考を二日^考あふ。あ
 かひてい^考ま^考が^考あ^考ま^考う^考ほ^考う^考ヨ^考「ま^考う^考」^考あ^考ふ
 似^考合^考ぬ。あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考サ^考ト^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 塚^考つて^考さ^考ぞ^考エ^考へ^考ん。あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考

丸^考熱^考多^考情^考が^考あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 いね^考が^考「コ」^考。あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 だが。あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 る^考な^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 本^考業^考を^考でも^考あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 ノウ^考笑^考ふ^考あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 ぞ。ワ^考シ^考ヤ^考と^考い^考ふ^考あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考
 づら^考が^考あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考「あ^考ま^考う^考ら^考な^考人^考」^考

つうせく。心の携て笑って。いやアかる。何。
 空言はほくみのう。切端あともたぬして。さ
 むい。移くぐらんでも。終りのふり。文まさる。さ
 かりヨ音。ナゼ音。そまでも。ワシヤりの。近も。
 なる。アやせねと。しる。むぐ。ある。せ。けら。らう。
 コレ。X。X。X。音。アハ。~~~~。ア。く。さ。ら。て。入。の。や
 ま。う。と。く。音。ア。く。ぶ。ね。入。さ。ら。ら。ら。ち。や。ア。
 い。け。移。く。音。コレ。サ。仕。る。の。が。出。来。ね。入。か。ま。

さ。移。く。音。け。一。件。の。ま。む。ま。ぞ。の。ま。え。ら。う。く。
 家。業。さ。ら。と。め。音。ア。~~~~。ア。ヤ。を。り。ら。う。
 め。う。ろ。が。と。と。ね。こ。ア。ア。年。う。移。う。音。ら。ぬ。こ。の。
 いろ。音。一。お。の。と。お。如。さ。の。花。ッ。を。を。ら。う。ふ。た。を。
 かく。と。る。音。さ。ら。う。ら。ね。ど。お。果。の。下。結。を。踏。か。き。
 き。ん。む。つ。音。と。や。と。ん。移。動。の。お。か。ら。う。と。を。
 移。み。く。と。お。が。か。り。ぐ。と。と。が。チ。エ。リ。ざ。ん
 移。ん。音。む。ん。と。ん。を。や。ナ。ア。ッ。音。の。は。さ。の。あ。へ

音の編み
 音の編み
 音の編み

箱の人のあつたを察せんと音

「コレエくわくげんふ。」

ふざけろく「サアく仲人志をうくおろく

「4ヨツ。いやくまーいぶらうがうご被を後を

志ヤアがらう「ワシヤで付けはばりく〜」

サア「隠居さん」のまが出来や〜」

まごうね「ライまがそのちをさく

やうらそく「サアそんなう音察さん。お

もみるそく「ホイ。そいつアうけぬのどト

中の人を扱って申す。たういへ湯をついで申す。のりやうを申す。申す。のりやうを申す。

申す「モシんをうり

るびがら。音をむらう。どろろ〜て〜さるま〜

音察さん「フムトまがらふらうてお

おきだろんとおろく〜へん。おきだろんとおろく〜へん。おきだろんとおろく〜へん。

るんぞア、いっしうい書よるんぞ。音察さん。

そきでい洋さま〜「へん。おきだろんとおろく〜へん。

ふん本さんよるんぞ。おきだろんとおろく〜へん。

ころらねろく。いろくよるんぞ。おきだろんとおろく〜へん。



女達の下駄のひびきかきかき
音もろはりのどがはびりあま

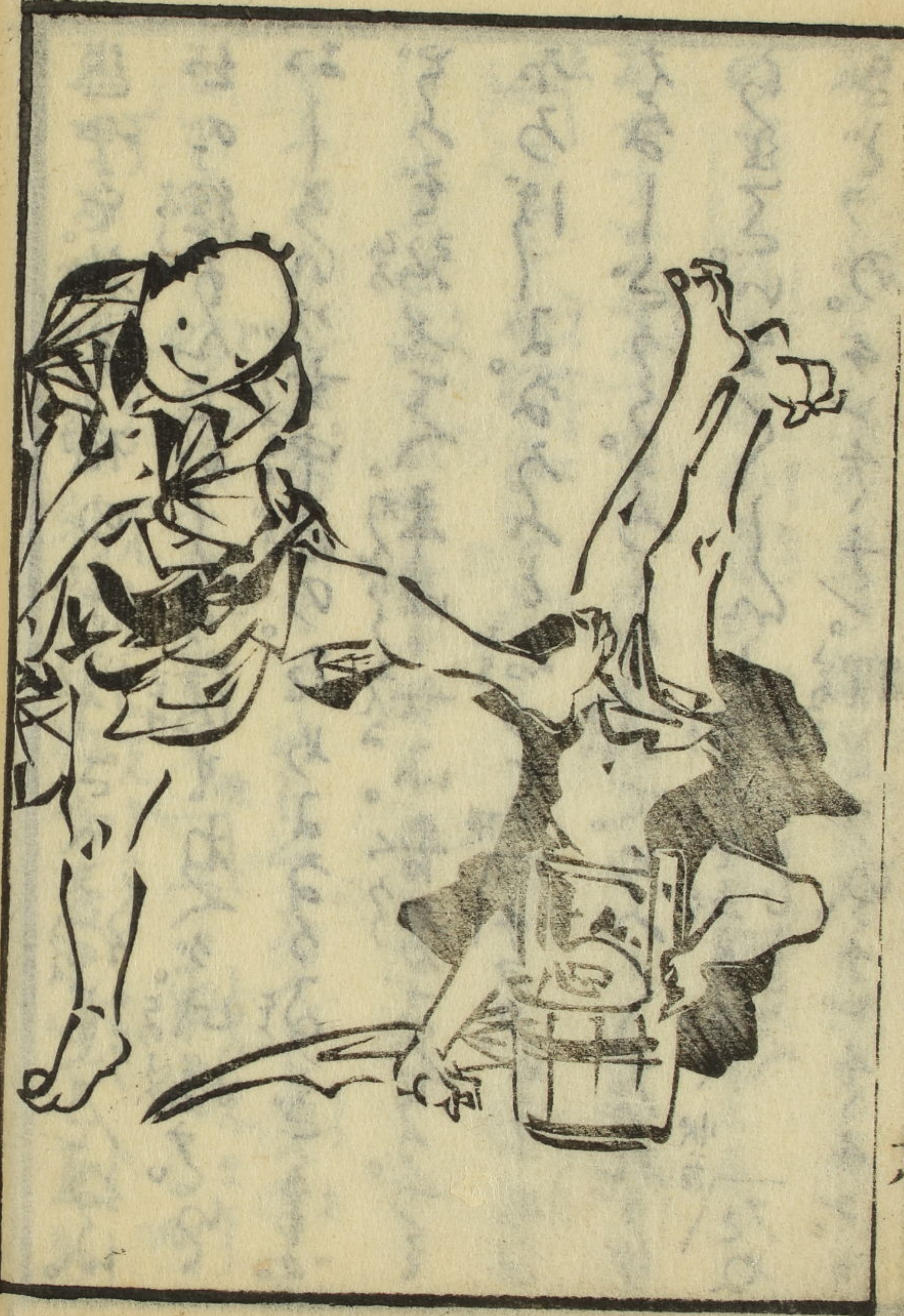
琴通令

むんごろう 若「紙のよふど」 若「ぬぐい
 て」がもどがサ。うんぐよ 若「そとがうえね入
 のう 青」ナニまんざううめね入でもね入が。お
 めいのまア。むんと漬。中「こころませどい
 又おでぬりうませう。チトいそぎの用ひで
 おぎりませう。 若「ぬぐい」の毒みかひ 若「ハア
 窓障を樟よりと。ア。とせけ。おと
 ニおめの家ごと 若「ア窓障をう。
 うりませう」

そとふして。ちんちん。むんごろう
 むんご。そとで。樟より。は。樟かかくるえん
 若「樟より」の樟の字ふ。おみか。おみか
 ものう。まけをしむ。若「むんごろう」
 移く。みがある。りのう。そとせ入。み。を。う。か。う。
 以けね入。若「ハア」外。よ。ど。う。り。樟。の。字。を
 書。若「エ」おみ。い。く。も。あ。う。サ。若「おみ」
 の。お。入。湯。ア。お。ア。ツ。て。も。むん。と。漬。む。若「ハア」

又さぞ。不んふ空云のよふごが。果るも。志
 ぜんとうまぐらうのが。ふしぎだよ。一ツあ
 机をうり月を仕掛ケの製法ごう。つね
 解つるのハ年坊ふ成つても。般か出来ぬ
 居る。子^子を^子モシ^子今^子か^子解つてハ向ふ合
 ぬ。一ツたん異國を^子やめて洗つるを
 志てう。用ひてよ。といふるごね。イヤサ

甘うだんハかりて。遊覧ハさるくる彩や。
 鹿の糸が出来さるごとて。あつぐ婚のなご
 先うらも。ヤレ何知のぐり。のそしき。あのが
 くの。イヤ候のたんびよ。あつがちがけて。
 あくうらせく。ヨモシ今^子のなる。一の^子あつ
 うんごせんも。さし。あハ。候よ。用ひねが。熱
 の種も。あつ。あせも。イヤ殿のさし。る
 るごめ。あ代。さして。一ト包め。十ごが。拾包



二人

吉原の

七

世

心



アタ...

いりま...

ぶぶづけ...

まぐふり...

をさん...

積...

くま...

か...

る。町で...

た...

けん...

ハ...

コウ...

ちや...

己...

と向...

どのとまて。やんと。突^つ出^でッころろ。こりッア。
 驚^{おど}慌^わ仕^し掛^かッどナと。名^なッこガ。何^{なん}分^{ぶん}獨^{どく}リど
 かッ。かまッどい^行ムとさると。コレエッこのや
 ろろめ入^い。そこむッ。明^{あき}庸^{よう}人^{にん}久^く。かん^{かん}鳥^{とり}の^の意^い機^き
 でもくくやアが色と。りんくろ。りんそけく^{りん}
 ちやア^{あづま}の^こ書^かッ子^こ虫^{むし}グ^ガ雨^{あめ}新^{あたら}志^しね^ね入^い令^{りやう}ア^の
 かさど。何^{なん}えんべらんめくうねが^か方^{かた}ろく^{ろく}突^つ出^で
 してア^かの^のて。き^き人^{にん}を^をお^おま^まよ^よん^んッ仕^し掛^かッ

へア。うめろッア。荒^{あらい}掃^{はら}どナと。りんと。や。こッの
 中^{ちゆう}後^ごろと。り^りろろ。ど^どの^のて^てか^かる^るや^やの^のを^をま^まづ^づ
 んで^ん登^{のぼ}の^の親^{おや}指^{さし}を^をど^どろ^ろて^て。ぐ^ぐぬ^ぬと^とむ^むつ^つた^たて^てると。
 や。小^こ味^{あじ}味^{あじ}よく。あ^あを^をの^のけ^けふ^ふど^どん^んと^とや^やり^りけ^けさ
 ろろ。そ^そろ^ろま^まろ^ろと^と又^{また}な^なま^まの^の方^{かた}ろく^{ろく}。毒^{どく}手^て桶^けと
 り^りの^のて^てぶ^ぶつ^つて^てく^くろ^ろや^やの^のを^を一^いト^と出^でズ^ずン^んと^と出^でる^る
 雨^{あめ}後^ごろ^ろ。何^{なん}分^{ぶん}獨^{どく}リ^りど^どめ^めふ^ふま^まと^とや^やの^のを^をぐ^ぐんと^とま^まや
 かん^{かん}でも^もの^のを^をぐ^ぐろ^ろ。た^たぶ^ぶこ^こと^とま^まッて

茶へまげこが。そアアアニツミツ。まんがくろりを
 させく。バターリと白服なら。えおが。あらいやア
 く。とやめこがそやアアぐんぎまのしだせ
 「そりやア嘘嘘の嘘ーく」ナを一本校所の
 一之店だよ。こぐろくのこをろく。よくふごぞ。
 マア。かんくのぞんまこのぞ。か嘘嘘ク。イヤそれ
 かつ。こてもなせい小將アごろろ。其はまやア
 のふこわい。いそんを。てあツこのへまこと。

ぐりとかくごをさめて。ぐりとをををいようて。
 賞こめの雪踏の角のろろやのをあろうの
 手つうんで。そりろのそまが。あま〜。りく
 さんしふげお〜。二丁めろろ。あまを。おして。
 新町の酒屋へ送へく。かきこて。あまが。あま
 がろろをこく。のこせ。あまのこま〜。よこり
 男とナア。そまごが。今のこま。あまの
 みやのろろ。さぞり〜。あま〜。あま〜。

ぶつがふめ。そしそいててくみひとしそつらつと
 とらんかみえぬらぶら状「まふ奥力手むりりコ」
 皆下くつ~~~~~

淨世よ三編の中の卷三

